

【10/29（火）開催】「北九州宇宙ビジネスネットワーク勉強会・相談会」追加情報

各登壇者から、「どのような技術を持った企業、ニーズのある企業を探しているのか」について追加情報をいただきました。

以下の情報に関連のある企業様はぜひご参加ください！

登壇者 1 北村健太郎氏（九州工業大学）CubeSat 向け革新的磁気センサ

超小型衛星は、電源、通信、データハンドリング、構体、熱制御、アクチュエータを使った姿勢制御、各種センシング技術など多くの要素御術が統合されたシステム開発のため、構体加工、熱設計、電気・電子回路の設計等の技術をお持ちの企業。

特に、組み込みシステムのハードウェア開発・実装経験や関連したソフトウェア開発の経験などはキーとなる技術を持つ企業。

登壇者 2 山崎進氏（北九州市立大学）宇宙機器搭載ソフトウェア・システム

組み込みシステム、回路設計、論理回路設計の発注ニーズ・高度人材受け入れニーズ

登壇者 3 松岡諒氏（北九州市立大学）衛星データ×AI

以下の衛星データ利用ニーズ

スマート農業：農作物のリモートモニタリング、生育・健康状況監視、収穫時期予測、異常検知など

都市モニタリング：人口の粗密調査、人の流動性・行動解析、交通状況監視・解析、太陽光発電システムの発電量予測など

防災・行政関係：土壌汚染、火災、土砂災害、洪水、水害、公害、地割れ・陥没などの環境モニタリング、道路上の落下物や障害物の検知、道路・建造物のメンテナンス時期の予測など

登壇者 4 中山大輔氏（九州工業大学）CubeSat 向け超小型高性能アンテナ

微細機械加工（金属，樹脂を統合した機械構造）、微細プリント基板の加工技術、アンテナ測定用の機械的、電氣的部材、ターンテーブルなどのアンテナの機械的位置決め、電波吸収体、同軸ケーブル、高周波測定器など電氣的部材等

登壇者 5 北川幸樹氏（九州工業大学）革新的ハイブリッドロケット

金属 3D プリント技術、電鑄技術、熱伝達計測技術、温度計測技術、二相流計測技術、高速度カメラ画像解析技術、燃焼ガス分析技術、真空シール技術、液体酸素供給系設計製作技術など